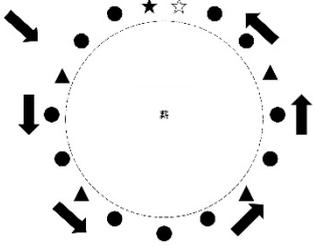


役割：司会者（●）、火の神（★）、女神（☆）、火の子（▲）、音楽

第1部【迎え火の部】

<p>開会 聖火入場</p>	<p>火の神、トーチを持った女神は外で待機する。 トーチを持った火の子は輪の中で待機する。 ●「夕日も沈み、ここ閑谷に夜のとぼりがおりはじめました。友情と信頼の絆を確かめ合い、強く生きることを願ってここに集まった皆さん、ただ今からキャンプファイヤーが始まります。まもなく聖火の入場です。『遠き山に日は落ちて』を歌いながら聖火を迎えましょう。」</p>	
<p>入場完了</p>	<p>入場完了後、女神は聖火を火の神に渡す</p>	
<p>火の神の言葉</p>	<p>●「火の神による始まりの言葉」 ★「今は何も見えないこの場所ですが、火は明るさを与えてくれ一人ひとりの顔を見せてくれます。火は遠い昔から私たち人間に生きる希望や喜びや勇気を与えてくれました。火は自らを焼きつくしながら光と熱を与えてくれます。火は私たちの命と言えるものです。これから燃え上がる火を見ると体だけでなく心まで暖かくなってきそうです。今日はキャンプファイヤーの火に負けないように笑い、楽しみ、素敵な思い出を作りましょう。」</p>	
<p>分火</p>	<p>●「この火をみなさんに分け与えます。火の子は火の神の前に並んでください。」 火の神は分火をお願いします。 ★「あなたには○○の火を与えます。」【友情・協力・感謝・努力など】</p>	
<p>誓いの言葉</p>	<p>●「火の子は誓いの言葉を言ってください。」 与えられた火の言葉をもとにトーチを高く掲げながら ▲「友情の火。思いやりの心を大切にすることを誓います。」 ▲「努力の火。何事にも諦めず取り組むことを誓います。」</p>	
<p>点火宣言</p>	<p>●「点火に移ります。火の子は薪の周りに並び、火の神は合図をお願いします。」 ★「点火！」 点火次第、トーチを消火する</p>	
<p>点火</p>	<p>●「私たちが誓った火が強く燃え上がりました。燃える炎は情熱であり、希望を照らす炎です。燃え上がる炎を見つめながら『燃えろよ燃えろ』を歌いましょう。」 歌っている最中に火の神と女神は退場する</p>	

第2部【スタンプの部】

<p>開会</p>	<p>●「炎の勢いが増してきましたね。今日この時間がもっと素晴らしいものになるように楽しいスタンプの時間にしましょう。」</p>
<p>閉会</p>	<p>●「これでスタンプの部を終わります。」</p>

第3部【送り火の部】

火の神女神 入場	●「まだまだ名残は尽きないですが、終わりの時間が近づいてきました。最後の送り火の部を始めます。火の神と女神が入場しますので『星かげさやかに』を歌いましょう。」
入場完了	
火の神の言葉	●「火の神による終わりの言葉」 ★「このキャンプファイヤーも終わりを告げようとしています。あんなに赤々と燃えていた炎も今は静かに大地に帰ろうとしています。でもみんなの心の中には赤々と燃え続ける炎が見えると思います。目を閉じると一生懸命燃えているファイヤーとその周りで楽しそうにしているみんなの顔が見えます。この素敵な体験を一生持ち続けてください。このキャンプで学んだ協力の大切さや仲間の素晴らしさをこれからの生活の中に持ち帰ってください。」
閉会	●「楽しいひと時も過ぎ、お別れの時がきました。燃え上がった様々な火はみなさんの心の中で燃え続け、勇気と希望を与えてくれることでしょう。最後にみんなで『今日の日はさようなら』を歌いましょう。」

連絡事項等を済ませ、退場しセンターに戻る。